中学歴史プリント（書き取り）
飛鳥時代 No.15

名前

得点 ／22

1. 7世紀前半に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化を何という？
2. 672年に天智天皇の死後、後継をめぐって起きた内乱を何という？
3. 推古天皇の時代、中国へ進んだ制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
4. 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？
5. 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？
6. 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？
7. 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？
8. 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？
9. 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？
10. 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？
11. 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？
12. 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？
13. 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？
14. 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？
15. 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？
16. 604年に十七条憲法を制定し、役人としての心構えや道徳を説いた人物は誰？
17. 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？
18. 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？
19. 天智天皇の死後、大友皇子と大海人皇子の間で跡継ぎをめぐって起こった大規模な内乱を何という？
20. 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？
21. 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？
22. 天智天皇が全国的な統治を強化するために初めて作成させた、国民の名前や本籍を記録した台帳を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「飛鳥時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.15 飛鳥時代

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	「飛鳥文化」は法隆寺の釈迦三尊像などに代表される、仏教中心の文化です。	飛鳥文化	□
2	672年に勃発したこの内乱は「壬申の乱」と呼ばれます。	壬申の乱	□
3	607年に小野妹子らが派遣されました。	遣隋使	□
4	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。	公地公民	□
5	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。	小野妹子	□
6	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。	白村江の戦い	□
7	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。	大化の改新	□
8	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。	白村江の戦い	□
9	中央集権国家とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。	中央集権国家	□
10	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。	仏教	□
11	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。	天智天皇	□
12	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。	法隆寺	□
13	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。	渡来人	□
14	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。	天武天皇	□
15	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。	律令制度	□
16	聖徳太子は、推古天皇の摂政として政治を主導しました。	聖徳太子	□
17	604年に制定された十七条の憲法は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。	十七条の憲法	□
18	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。	中央集権	□
19	672年に始まったこの争いは「壬申の乱」と呼ばれ、地方の豪族や兵を味方につけた大海人皇子が勝利しました。	壬申の乱	□
20	670年（庚午の年）に作成された「庚午年籍」は、日本で初めて全国規模で作成された戸籍です。	庚午年籍	□
21	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。	律令制度	□
22	天智天皇が作成させた戸籍（庚午年籍）は、日本で初めて全国的に行われたものです。	戸籍	□

言えなかった用語ノート